

神戸市地域型障害者スポーツのあり方検討会第1回検討会 平成25年11月27日

## 地域型障害者スポーツのあり方 「共通理解のために」

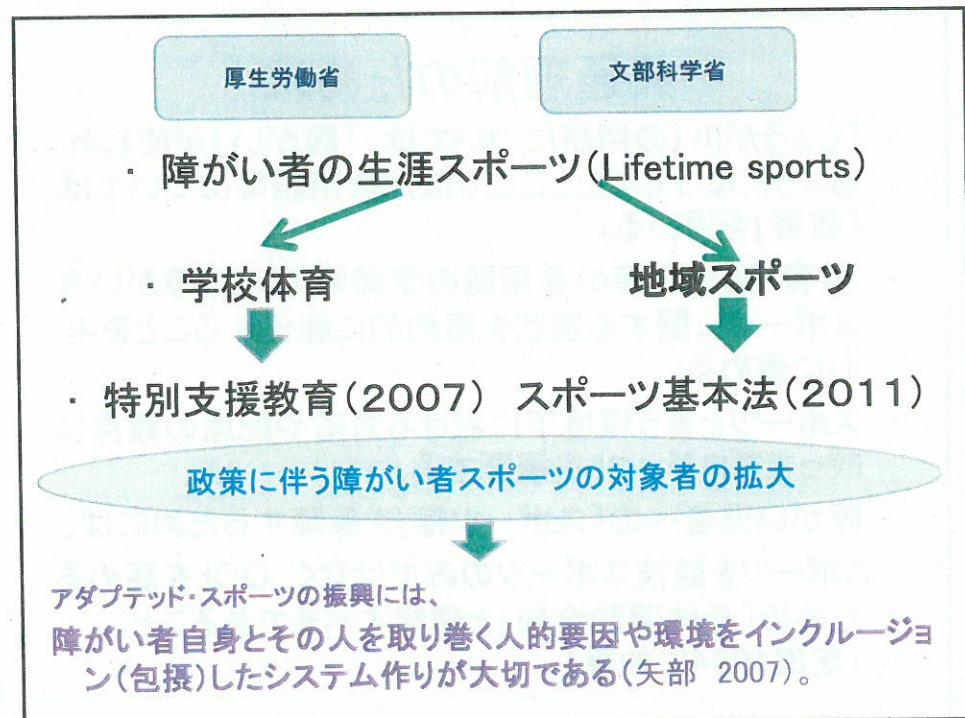
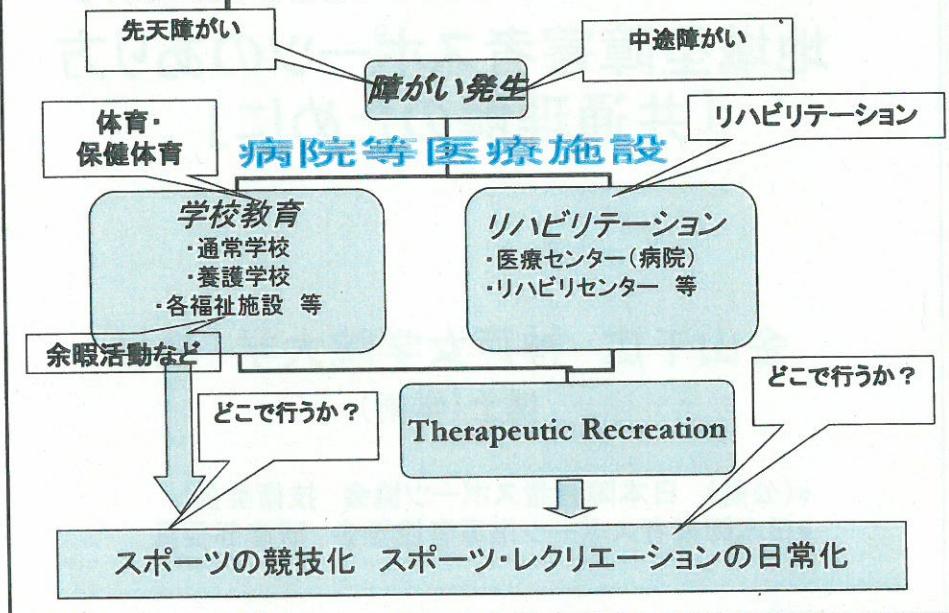
金山千広 神戸女学院大学 教授  
博士(学術)

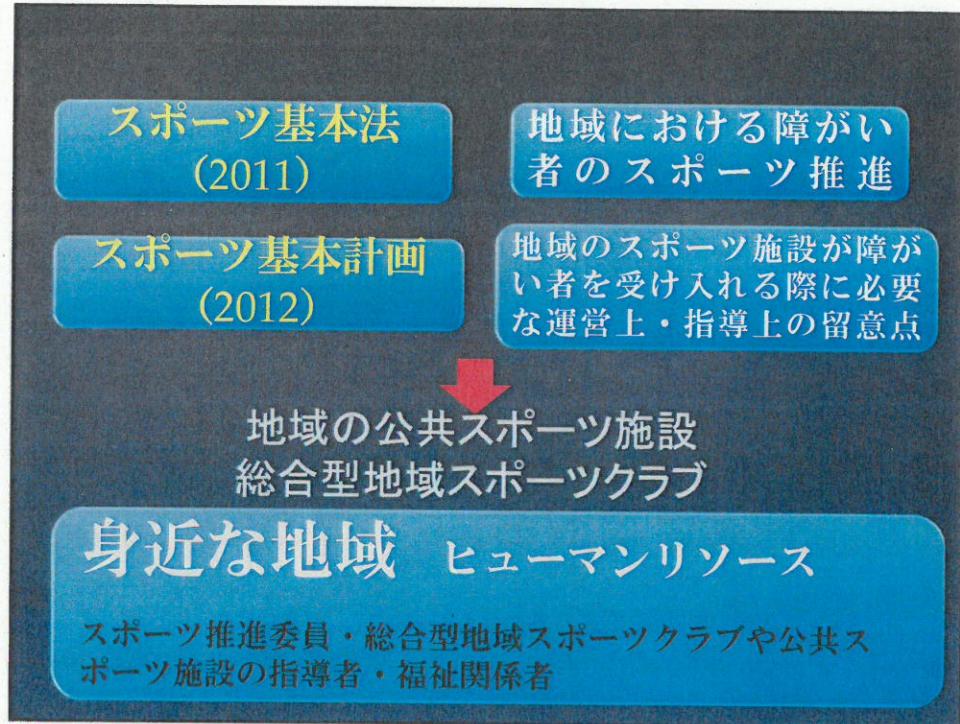
- (公財) 日本障害者スポーツ協会 技術委員
- 日本障害者スポーツ指導者協議会 研修部委員

### 共通理解のために

- 「しうがい」の用語については、「障がい」が使われるようになってきた。ここでは法律用語等については「障害」を用いる。
- 教育・福祉関連の各用語の定義等よりも、障がい者スポーツに関する現状を集約的に報告することを中心進めること。
- スポーツと言う環境下における対応や配慮の観点に絞ってプロジェクトを開発する。
- 障がい児者への「スポーツ権」を保障するためには、スポーツを競技スポーツのみではなく、QOLを高めるための「身体運動全般」と理解すべきであること。  
(芝田1994に加筆)

## Therapeutic Recreation Service





## Inclusion: インクルージョン

- ・ 障がいのある子とない子が同じクラスで授業を行う
- ・ 段階的な包括をも含む方法である(サマランカ宣言 1994)
- ・ 障がい児学級、時々通常学級、補助的に障がい児学級、アシスタント付き通常学級、通常学級等、全ての段階を包括する(草野2001)
- ・ **social inclusion**・ソーシャルインクルージョン社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会(厚生労働省 2000)

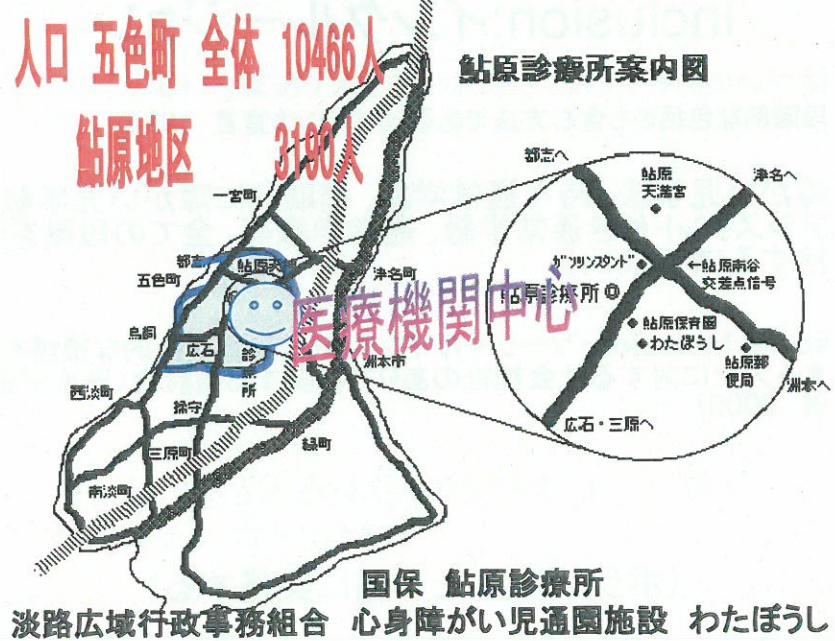
地域において障がいのある人とない人が  
一緒にスポーツを行う！  
(ボランティアと一緒に実施する)

## 障がい者スポーツの理念 「活力ある共生社会の創造」



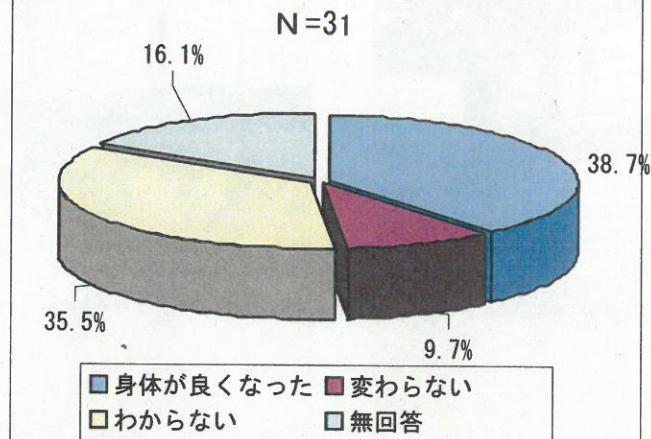
障がいの種類や程度、ライフステージに応じ、  
障がい者が身近な地域で日常的にスポーツを楽しむ  
「生涯スポーツ」の環境が整った社会

日本障害者スポーツ協会



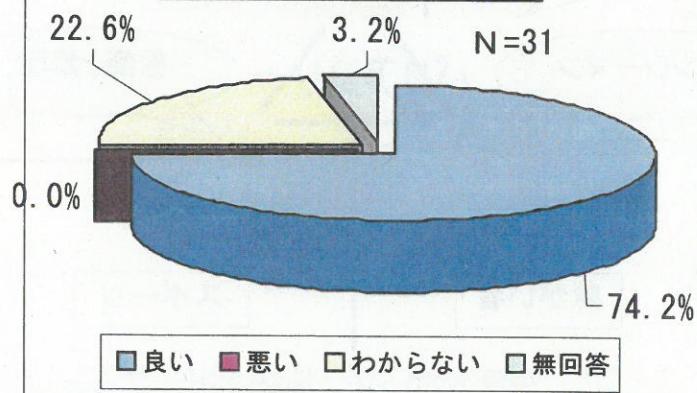
## 事業評価

図12 水中運動を始めてからの自覚的な  
体調変化

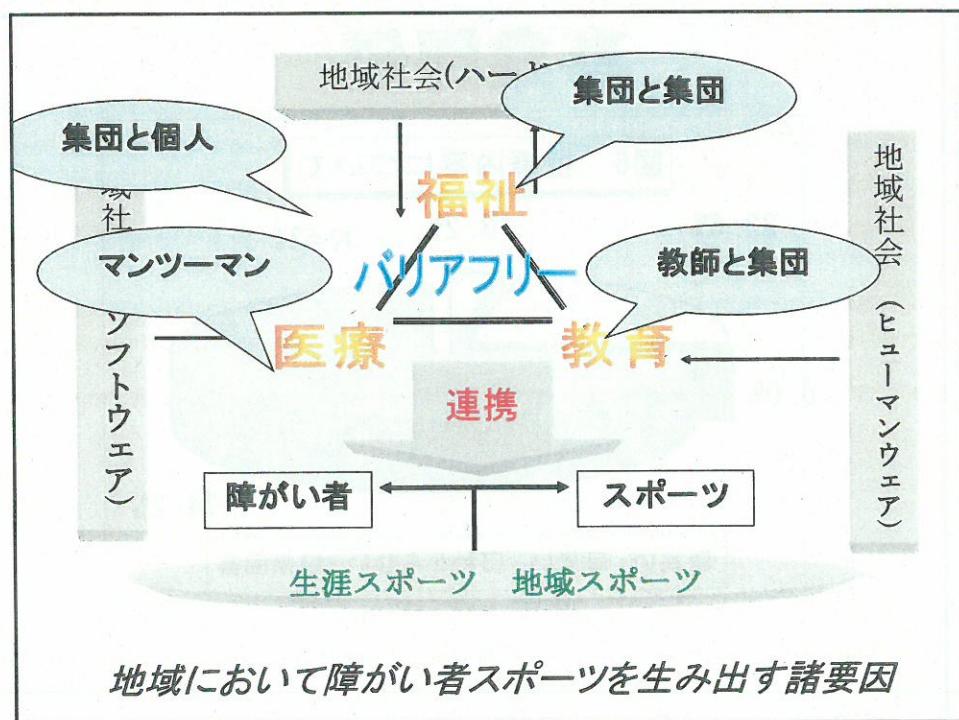


## 事業評価

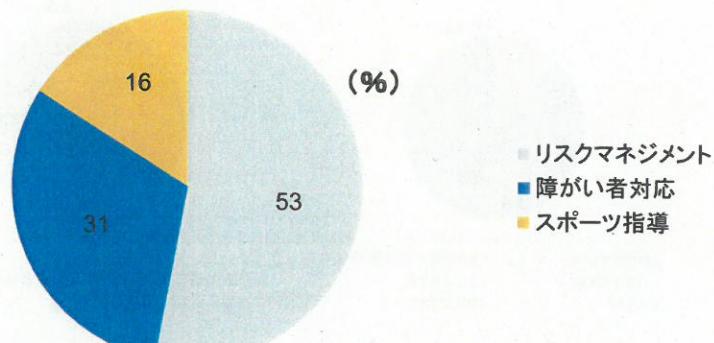
図6 指導内容について



## 神戸市地域支援事業



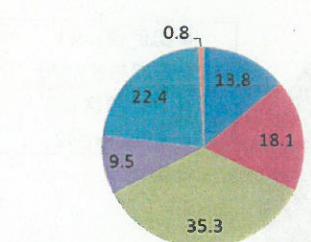
## 障がい者を指導する時の不安点



藤田(2013)みんなのスポーツ

## 近畿地区の小学校113校対象 授業実施形態の現状および研修参加の現状

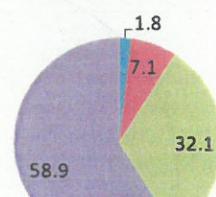
授業実施形態



■通常学級と特別支援学級のTT  
■一部通常学級  
■全て通常学級  
■複数回答あり  
■その他  
■無回答

全て通常学級が多い

障害児の体育に関する  
研修参加の現状



■長期の研究・研修に参加  
■講習会などへよく参加する  
■講演に参加したことがある  
■無

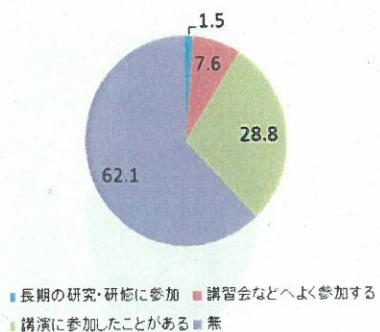
6割の教師が研修参加経験が無い

## 近畿地区の中学校66校対象 授業実施形態の現状および研修参加の現状

授業実施形態



障害児の体育に関する  
研修参加の現状



全て通常学級が多い

6割の教師が研修参加経験が無い

## 中学校教員養成コース76校対象 アダプテッド・スポーツ教育関連科目の開講状況

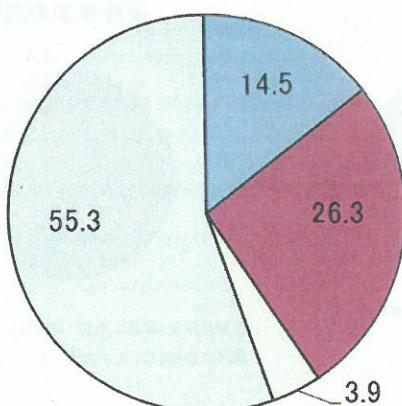
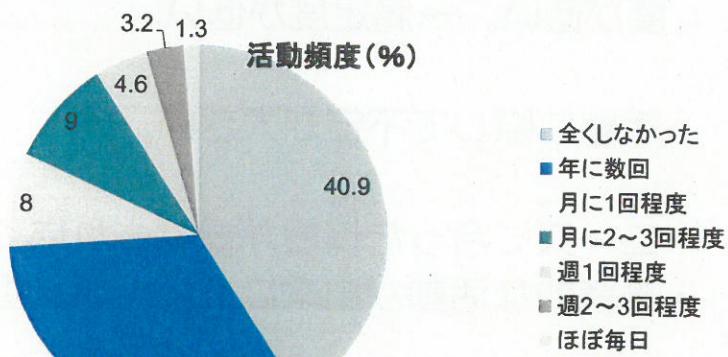


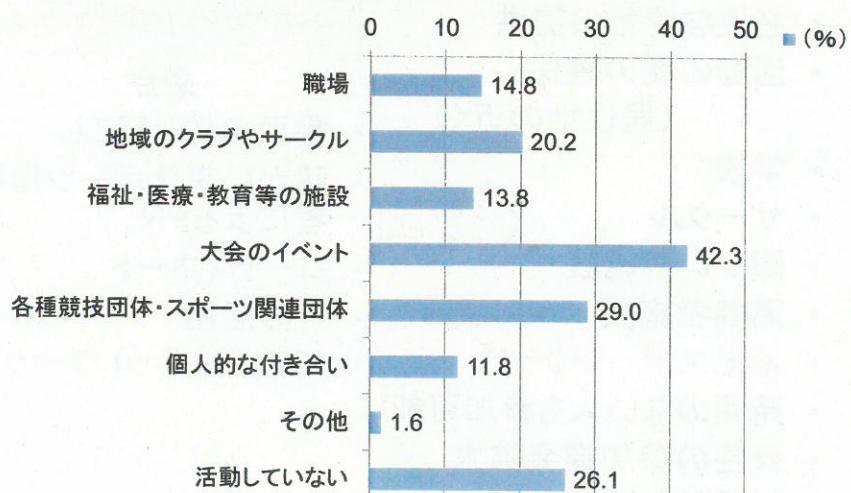
図1 アダプテッド・スポーツ教育関連科目の開講状況

## 初級指導者の活動頻度



2012年  
日障協実態調査より

## 初級指導員の資格取得後の活動の場 (複数回答)



2012年  
日障協実態調査より

## 障がい者スポーツ指導者制度の課題

- ・活動の意欲はあるが活動の場が少なく、頻度が低い。→満足度が低い。
- ・活動に際して不安が大きい。
- ・ニーズに合った情報が提供されにくい。
- ・継続的な活動が出来にくい（単発型）。

2005,藤田

## 地域密着型の活動

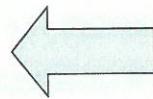
### メリット

- ・必要な情報の提供
- ・活動の場の確保  
(居住地の近く)
- ・学校
- ・サークル
- ・障がい者施設
- ・高齢者施設
- ・**地域スポーツクラブ**
- ・時間のない人も参加可能に
- ・女性の参加機会拡大
- ・継続的な活動

近所でなければ…続かない！

### 条件

- ・需要の掘り起こし
- ・障がい者スポーツ指導者によるPR
- ・コーディネート
- ・ITの活用
- ・行政とのネットワーク



## ネットワーク組織の特徴

- 非階層システム
- メンバーの独立性が高い。
- 多目的である場合が多い。
- 目的－手段に対する成員間の葛藤が多い
- リーダーシップは多頭型、グループ内を円滑にすることであり、統率することではない。（混乱と葛藤）
- スポーツと言う環境下における対応や配慮の観点に絞ってプロジェクトを開拓する。

**神戸市地域型障害者  
スポーツのあり方検討会**

**神戸総合型地域スポーツクラブ**



平成25年11月27日(水) 16:00～  
神戸市役所1号館19階  
保健福祉局中会議室

### 神戸総合型地域スポーツクラブとは

●総合型クラブの育成は、文部省(当時)が平成7年に「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」を始めたのが最初である。

神戸市

●平成10年度から「神戸アスリートタウン」の実現を目指し、学校施設開放運営委員会をベースに、小学校を拠点とした市民の自主運営による「神戸総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成を始めた。

1

**神戸アスリートタウン構想**  
(平成11年4月～)

■基本コンセプト

- 子どもから高齢の方まで
- 価値観、技術レベルに応じて
- スポーツに親しみ、健康づくりができるまちづくり



↓

**生涯スポーツ社会の実現**

2

### 神戸総合型地域スポーツクラブの特色

#### 総合型地域スポーツクラブとは

- ①多種目
- ②多世代
- ③多様なレベル
- ④市民の自主的な運営
- ⑤受益者負担で運営
- ⑥市民に開かれたクラブ



3

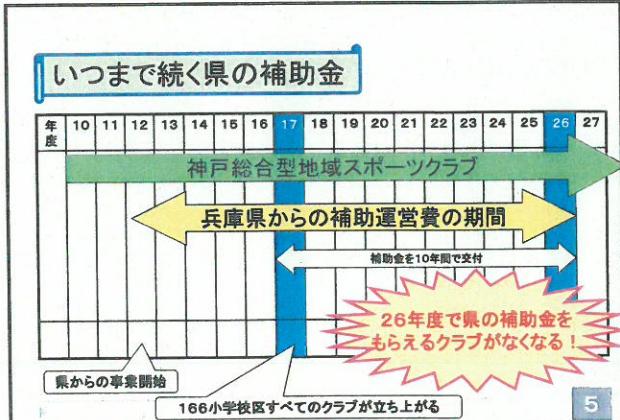
**兵庫県の施策**

**「スポーツクラブ21ひょうご」事業**  
平成17年度末までに、(平成12年度～)  
県下全小学校区に設立(827クラブ)

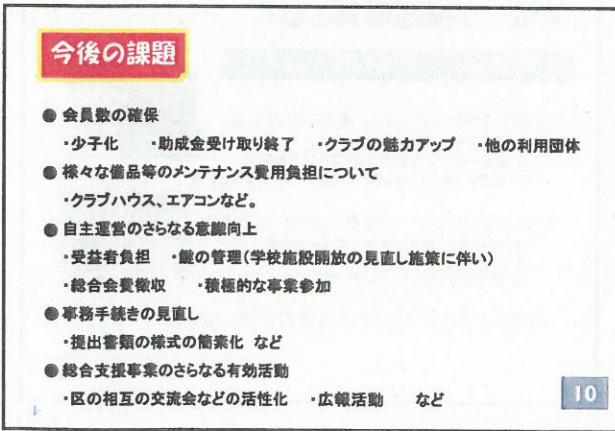
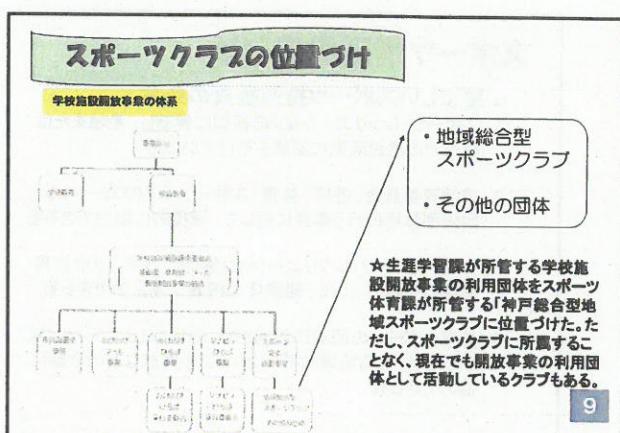
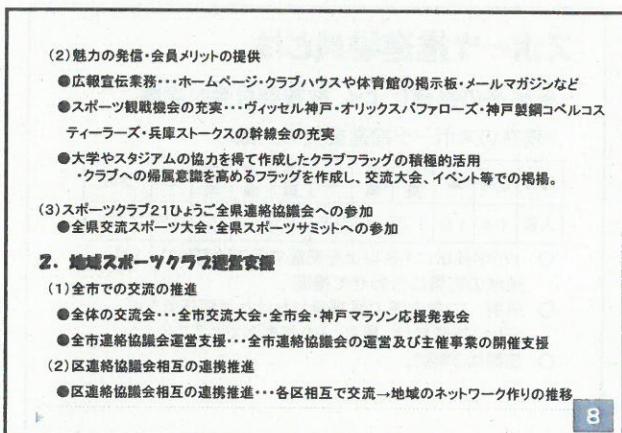
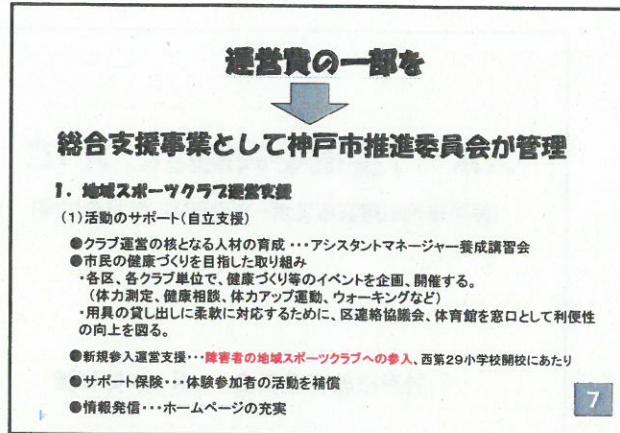
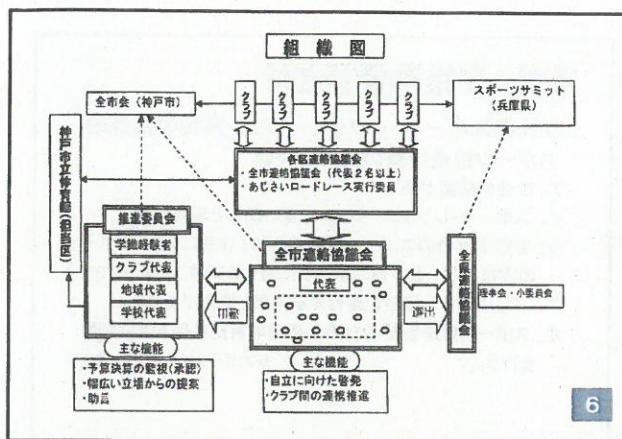
兵庫県下のすべてのクラブに県から補助金をいただく

神戸市も10支部の一つとして参画  
(全166クラブ)  
学校開放施設委員会をベースに展開

4



5



## スポーツ推進委員制度について

(神戸市地域障害者スポーツのあり方検討会資料)

神戸市教育委員会 スポーツ体育課

### スポーツ推進委員とは

#### □ 市民のスポーツ・レクリエーション振興の推進役

スポーツ推進委員の資質と役割

- ア、社会的信望がある
- イ、スポーツ・レクリエーションに深い关心と理解がある
- ウ、当該市町村のスポーツ推進のため、住民に対し、スポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言ができる
- エ、「ウ」に関する職務を遂行する熱意と能力がある
- オ、スポーツ推進委員のための事業の実施に係る連絡調整を行う。

※スポーツ基本法第32条より

1

### スポーツ推進委員とは

#### □ 望ましいスポーツ推進委員の条件

1. スポーツ・レクリエーションの振興に貢献し、地域または職域での実践活動に実績を挙げている者
2. 市教育委員会、各区、体育・スポーツ・レクリエーション関係団体等の行う事業に対して、積極的に協力できる者
3. 体育・スポーツ・レクリエーション関係団体や、社会教育団体の指導者として、組織体の円満な運営ができる者
4. 地域スポーツの振興に前向きで、地域コミュニティづくりの拠点となる地域スポーツクラブの育成などの取組に協力できる者

2

### スポーツ推進委員とは

#### □ 各区長の推薦により、教育委員会が委嘱

<現在のスポーツ推進委員の人数>

区名	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	合計
人數	14	19	17	20	25	20	19	27	25	186

- 1小学校区に1名以上を配置することが望ましいが、地域の実情に合わせて推薦
- 原則、70歳未満の候補者でなければ再任できず、新しい推薦者は、原則、50歳未満であること
- 任期は2年間。

3

### スポーツ推進委員役割の変遷

- 昭和36年のスポーツ振興法  
スポーツの実技指導
- 昭和47年の保健体育審議会答申  
実技指導からスポーツ振興事業の企画・推進を重視
- 平成元年の保健体育審議会答申  
高度化・多様化に対する資質の向上(研修の充実)  
従来の役割に加え、コーディネーターとしての役割を重視
- 平成12年のスポーツ振興基本計画  
総合型地域スポーツクラブ創設の中心的役割を果たす等  
地域住民のニーズを踏まえたスポーツ振興の推進役
- 平成23年のスポーツ基本法  
(体育指導委員からスポーツ推進委員に名称変更)  
さらに、スポーツ推進委員のための事業の実施に係る連絡調整

4

### スポーツ推進委員として

地域のスポーツ振興にかかわる

#### ①区の行事・イベントに参加・協力する

- ア 区民スポーツまつり
- イ 各種スポーツ大会(グラントゴルフ大会など)
- ウ 区民レクリエーション(体力測定・ハイキングなど)等



#### ②全市的なスポーツ行事に参加・協力する

- ア がんばれ 神戸っ子 ドッジボール大会
- イ スポーツフェスティバル
- ウ 神戸マラソンボランティア 等



#### ③地域スポーツクラブからの協力要請に応じる

5

## スポーツ推進委員として

スポーツ推進委員の資質の向上

☆各区連絡会に出席

- ・スポーツ推進委員同士の情報交換・連絡
- ・スポーツイベント等の計画・準備



☆神戸市スポーツ推進委員全体研修会には原則全員参加  
☆下記1~4までの研修に、少なくとも1度は参加

1. 兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会
2. 全国スポーツ推進委員研究協議会
3. 五大都市スポーツ推進委員研究集会
4. 近畿スポーツ推進委員研究協議会

6

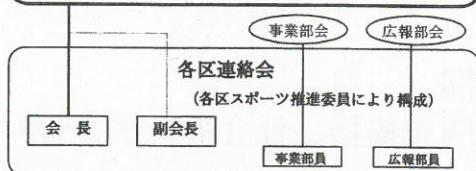
## スポーツ推進委員組織について

スポーツ推進委員協議会

(各区連絡会会长により構成)

会長 副会長 事業部長 広報部長

※顧問を置くことができる(退職会長 任期2年 会長委嘱 再任不可)



7

## 第2回 神戸市地域型障害者スポーツのあり方検討会

とき：平成26年3月25日（火）10：30～11：30  
ところ：こうべ市民福祉交流センター5階市社協会議室

### 1 開 会

開会挨拶 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会事務局長 木原 勇

### 2 議 題

#### (1) 報告

① 調査部会検討

② アンケート実施報告

総合型地域スポーツクラブ

神戸市スポーツ推進委員

政令指定都市

③ 総合型地域スポーツクラブヒヤリング

④ その他の先駆的取り組みヒヤリング

モデル開催「福池障害者スポーツ交流会」

#### (2) 検討

### 3 研究結果のまとめについて

### 4 その他

## 4研究内容

### ①調査部会における取組－アンケート調査内容検討

#### ● 第1回調査部会

- ① 日 時 平成25年12月18日(水) 16:30~18:00
- ② 会 場 神戸市役所1号館8階 保健福祉局中鍵室
- ③ 出席者 委員長および調査部員8名
- ④ 検討事項

アンケート調査実施先及び内容（設問項目）について

調査目的を部会員で再確認の上、調査実施組織等の機能、性格を考慮したうえで、調査後のかかわりを見据えた調査項目を設定することとした。

事務局提出の調査項目の原案をもとに調査対象の理解、反応を想定し、語句の定義、文言、設問事項への必要な配慮事項等を、出席部会員で点検した。

#### ⑤ 決定事項

##### ・調査対象

神戸市総合型地域スポーツクラブ	165件
神戸市スポーツ推進委員	186名
政令指定都市	20都市

##### ・調査内容

結果から聴取したい内容として、現状把握、現在の活動に何が加味されれば障害者の参加が実施あるいは促進されるのか、今後の連携につなげるため、研修等の機会を提供すれば参加の意欲はあるか等を確認

- ・自由意見欄設定については、設定する方向で
- ・アンケート実施後のヒヤリングが望ましいが、時間がないため、ヒヤリングはアンケートと並行実施する。

#### ● 第2回調査部会

- ① 日 時 平成26年1月9日(木) 16:30~18:00
- ② 会 場 神戸市役所1号館8階 保健福祉局中鍵室
- ③ 出席者 委員長および調査部員6名

#### ④ 検討事項

- ・アンケート調査実施先及び内容（設問項目）の確定について  
第1回を踏まえて作成した神戸市スポーツ推進委員アンケート調査シート案を点検し、決定。
- ・総合型地域スポーツクラブ調査シートについて、事務局原案を点検
- ・調査対象の組織以外の現在機能している社会資源を活用した取り組みについて

○福池ふれあいのまちづくり協議会による障害者スポーツのイベントのモデル実施

地域で先駆的に障害者福祉に着目している協議会をヒヤリングを企画したところ、試行的に地域イベントとして障害者を対象としたスポーツイベントを開催する。

#### ⑤ 決定事項

- ・神戸市スポーツ推進委員アンケート内容を確定。先行実施する。
- ・その他の社会資源によるモデル事業は調査部会及び事務局と当該ふれあいのまちづくりにおいて調整のうえ実施する。  
※行政組織等が主導的に実施しないよう注意する。

### ● 第3回調査部会

① 日 時 平成26年1月30日（木）16：30～18：15

② 会 場 神戸市役所1号館8階 保健福祉局中鍵室

③ 出席者 調査部員6名

#### ④ 検討事項

- ・アンケート調査実施先及び内容（設問項目）の確定について  
第2回を踏まえて作成した総合型地域スポーツクラブアンケート調査シート案を点検し、決定。
- ・調査対象の組織以外の現在機能している社会資源を活用した取り組みについて

●福池ふれあいのまちづくり協議会による障害者スポーツのイベント「福池障害者スポーツ交流会」のモデル実施

平成26年2月23日（日）会場：神戸市立福池小学校

#### ⑤ 決定事項

- ・総合型地域スポーツクラブアンケート内容を確定。

## 地域型障害者スポーツのあり方検討会 アンケート実施報告

### 〈実施概要〉

平成25年度において、神戸市と社会福祉法人神戸市社会福祉協議会では、厚生労働省の指定研究事業として実施している「地域型障害者スポーツのあり方検討会」において、地域の中で、地域組織、住民に支えられながら、障害のある人がスポーツに親しめるしくみづくりを研究しており、その中で、地域でスポーツ活動の振興を担う組織、個人に意識アンケートを実施し、日頃の活動状況や障害者スポーツに関する考え方等を聞き、実情把握を行う。

〈実施時期〉 平成25年 2月 17日 ~ 2月 28日

### 〈アンケート対象〉

- ①総合型アンケート 165か所
- ②神戸市スポーツ推進員 186人

### 〈アンケート返信結果〉

- ①総合型スポーツクラブ 35か所
- ②神戸市スポーツ推進委員 96人

## 「神戸総合型地域スポーツクラブ」代表者各位

### 地域型障害者スポーツのあり方検討会 座長 金山 千広

#### アンケートへのご協力のお願い

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会では、幅広い地域福祉事業を実施しております。中でも、障害者スポーツ振興センターは、神戸市と連携し、スポーツを通じて市内における障害のある方々の健やかで豊かな暮らしの増進に取り組んでおります。

本年度、神戸市社会福祉協議会では、厚生労働省の研究事業の指定を受け「地域型障害者スポーツのあり方検討会」を設けることとなりました。現在、大学の研究者や関係団体の皆様の協力を得て、地域の中で障害者のスポーツ活動がどのように行われているかを調査しております。

この度の調査では、それぞれの地域で、障害のある方々のスポーツがどのように実践され、社会参加や健やかな暮らしのために活かされているかを知りたいと考えております。

得られた結果からは、障害のある方々が、身近な地域でスポーツと出会い、健康や生きがいを見出すことができるよう、提案を行っていきたいと考えております。

総合型地域スポーツクラブの運営に関わっておられる方々は、スポーツを通したさまざまな活動により、神戸市の青少年児童、そして地域の皆様の健やかで豊かな暮らしを育んでおられます。

今回の調査は、その活動の現状や今後の取り組みについてお考えを伺うために実施しました。

お忙しい中、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。